

令和7年度 技術・家庭〔技術分野〕<第1学年> 年間指導計画と評価規準

技術・家庭 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働きかせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

技術の見方・考え方を働きかせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第1学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能

思は、思考・判断・表現

主は、主体的に学習に取り組む態度

月	内容	単元名	指導内容	評価規準			評価方法	
4 ガイダンス		生活や社会における技術の役割(p8-17) 作業の安全(p18-25)	① 技術の役割 ② 身の回りの製品の技術 ③ 技術の見方・考え方 ④ 技術分野の学習の流れ ⑤ 問題解決の流れ ○作業の安全 ○コンピュータやスマートフォンなどを使うときに注意すること ○情報機器を使った、生活や社会とのかかわり方 ○よりよい生活や社会に向けて、つくられ、工夫されていく技術	知	・生活や社会における技術の役割を理解している。 ・問題解決の手順、技術のしくみや方法の最適化について理解している。 ・作業の際に注意する事項について理解している。 ・情報機器の適切な使用方法や使用場面について理解している。	思	・身の回りの製品用いられている技術に気付いている。 ・身近な製品に含まれる技術の見方・考え方に関心を持っている。 ・技術によって問題を解決することに関心を持っている ・技術分野の学習において安全に注意しようとしている。 ・情報社会において適正に参画できるように活動しようとしている。 ・技術の向上が生活や産業に及ぼす影響を考えている。 ・日本の伝統的な技術が受け継がれ発展し、現代の生活や産業のものづくりに活用されていることに関心を持っている。	知 ・定期テスト ・製作品 思 ・定期テスト ・グループワーク ・発表内容 ・ノート 主 ・授業態度 ・提出物 ・ノート ・授業中の発言 ・グループワークや作業への取組 ・振り返りシート
			知	・製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方へ気付いている。	思	・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。		
			知	・木材の性質と種類 ② 木材の加工のしくみ ③ 金属の材料と加工 ④ プラスチックの材料	思			
7 A 材 料 と	1-1 生活や社会と材料と加工の技術(p28-29)	1-2 材料を利用するための技術 (p30-47)	① 製身の回りにある材料と加工の技術 ② 木材の性質と種類 ③ 木材の加工のしくみ ④ 金属の材料と加工 ⑤ プラスチックの材料	知	・木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を理解している。 ・金属の特徴や加工法の科学的な原理・法則を理解している。 ・プラスチックの特徴や加工法の科学的な原理・法則を理解している。 ・じょうぶな構造や組み合わせ、部材について科学的な原理・法則を理解している。 ・図面を		思	
				知	・木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を理解している。 ・金属の特徴や加工法の科学的な原理・法則を理解している。 ・プラスチックの特徴や加工法の科学的な原理・法則を理解している。 ・じょうぶな構造や組み合わせ、部材について科学的な原理・法則を理解している。 ・図面を		思	

1 0	加工の技術	と加工 ⑤ じょうぶな構造や部材 ⑥製図のルールとかき方		読みとったり、かいたりすることができる。・製作品の製作に必要な図面や表をかきあらわすことができる。	定期テスト ・製作品 思 ・定期テスト ・グループワーク ・発表内容 ・ノート
1 1			思	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	
1 2			国	・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。	
1 2	A 材料	2-1 問題解決の手順 (p50-61) ※実習例を含む	① 問題解決の流れ ② 問題の発見と課題の設定 ③ 構想と設計 ④ 試作と設計の改善 ⑤ 製作の準備	知 ・じょうぶな構造や組み合わせ、部材について科学的な原理・法則を理解している。・図面を読みとったり、かいたりすることができる。・製作品の構想図をかき、試作品を製作することができる。・製作に必要な手順を理解し、図や表をかきあらわすことができる。 思 ・製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。・生活中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだし、解決する課題を設定することができる。・課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 国 ・身の回りや社会の材料と加工の技術に関する問題に関心を持っている。・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。	授業態度 ・提出物 ・ノート ・授業中の発言 ・グループワークや作業への取組 ・振り返りシート
3	と加工の技術	2-2 製作のための技能 (木材) (p76-89) ※実習例を含む ※「2-3 製作のための技能 (金属・プラスチック)」(p90-97)も同様	① 材料取り (けがき) ② 切断 ③ 切削 ④ 穴あけ・溝ほり ⑤ 組立て ⑥ 仕上げ	知 ・安全・適切に材料取り、材料取り・切断・部品加工などの必要な作業を行うことができる。・安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 思 ・適切に組立てができるよう手順を考えて組立てを行うことができる。・完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。 国 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	
		3 これからの材料と加工の技術 (p98-101)	① 材料と加工の技術の学習を振り返ろう ② 材料と加工の技術と私たちの未来	知 ・これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 思 ・材料と加工の技術を評価し、適切な選択・管理・運用のあり方について意見をまとめることができる。 国 ・よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。	